

令和元年度 予算審議から

一般会計・特別会計の予算特別委員会で行われた、主な質疑や意見の概要をお伝えします。令和元年度の各予算は、それぞれの特別委員会では活発な議論を経て、議会最終日の本会議で原案のとおり可決され、成立しました。

国民健康保険特別会計

質疑

- 平成30年度国保加入者の平均所得を問う。また、所得ゼロと所得200万円以下の人の割合を問う。
- 新規のデータヘルズ事業を問う。
- 一般会計繰入金5年間の推移を問う。
- 国保が他の健保より高い理由を問う。
- インセンティブ補助金で評価されている部分についての分析を問う。

意見

- 値上げは理解し、市の努力は評価するが、3万円近い値上げで払えない人も増える。(反対)
- 国保の根幹を自治体として忘れてはいけない。(反対)
- 市も努力を続け、国の責任で持続可能にしていく事を求める。(反対)

介護保険特別会計

質疑

- 介護認定審査会の平成29年度の実績と市民の声、また今後の見通しについて問う。
- 介護サービスの利用者負担の見直しに対して、どのような実態把握をしたか。
- 高額医療合算介護サービス等経費について、どのくらいの人が制度を利用しているか。
- ひの市にはどのくらいの団体が取り組んでいて、どのような状況なのか。

意見

- 負担割合が変わることで月のリハビリにかかる負担が大きくなる。リハビリを必要とする人のケースごとに判断してほしい。(賛成)

市立病院事業会計

質疑

- 有形固定資産購入費において、医学の進歩によって、必要となるものはあるか。
- 市民ニーズの高い、精神・神経科医師が常勤でないが、確保はどのようになっているか。
- 救急車の応需率と、不応需の理由を問う。
- 院長相談役の給与はどこから支払われているか。

意見

- 体制上の抜本的強化により、管理者集団を蓄積することが大事。また、市民の理解が得られるような、医療機器購入を要望する。(賛成)
- ベッドが埋まらない、少ない患者を取り合っている状況の中で、公立病院の意味を問い直すべきである。(賛成)
- 説明の出来ない事態が散見されている、透明性を高める病院運営をしなければならない。(反対)

下水道事業特別会計

質疑

- 公営企業会計移行に向けた準備の中で、会計システムの構築及び会計システムデータ移行の進捗状況と今後の予定について問う。

意見

- 公営企業会計に移行した場合、値上げも考えていると思うが、近隣市との格差が広がらないよう、注意してほしい。(賛成)

区画整理事業特別会計

質疑

- 市施行4地区の事業の進捗状況と保留地処分状況、市負担金の実績及び今後の負担金の総額について問う。
- 豊田南地区の保留地の地中に埋まっている廃棄物の処分方法及び費用について問う。
- 川辺堀之内土地区画整理組合施行の顧問について、日常的な業務、対価、期間の定めの有無について公開を求める。

意見

- 10億円近い立替金に依存するのではなく、着実・公正に区画整理を進める手法を取るべき。(反対)
- 区画整理事業は公平性・透明性かつ説明責任を果たすという部分が大切であり、豊田南地区に関しても見直し問題抜きでは進めようとは難しいのではないかと。(反対)
- 賛成したいが、日野市の区画整理に関する情報提供が乏しく、市民は不満を抱いている。(反対)

後期高齢者医療特別会計

質疑・意見は、ありませんでした。

解説は『広報ひの』に

令和元年度予算内容の解説は、『広報ひの』5月1日号の11ページから13ページに掲載されています。併せて、ご参照ください。

一般会計

歳入全般

質疑

- 個人市民税の増収及び法人市民税の減収の要因と人口動態を問う。
- 消費税増税時における、使用料及び手数料について、市の方針を問う。
- 保育無償化による市の負担割合の変化について問う。

議会費・総務費

質疑

- ハラスメント相談窓口の利用件数と内容について問う。
- 街頭防犯カメラ設置事業において、自治会の設置補助への取り組みを問う。
- イオン多摩平の森が期日前投票所として開設されること周知方法について問う。
- 住民情報システム共同利用を3市で行うに至った背景について問う。
- 庁用車の管理方法と次世代自動車の導入計画について問う。

衛生費・労働費

質疑

- 老朽化した現在の火葬場について、修繕などで使用できない期間があるか。
- 使用済み注射針回収事業の内容と、所管部署が移行した経緯について問う。
- 正規職員として、保健師の増員予定はあるか。
- (仮称)石田地区公共施設整備経費の中身について、改めて説明を求める。
- 健康サポートルームの利用状況について問う。
- オスプレイの飛来市独自の監視について問う。

質疑

農業費・商工費・土木費・消防費

- 商業振興条例の中での、意欲ある商業関連事業者の判断基準は何か。
- 日野駅周辺整備基本調査業務について、現時点の調査状況について問う。
- 移動販売を市内ですらに広めるために、公園を活用していくことはできないか。
- 凍結防止剤の配布についてどのように市民へ周知しているか。
- 新選組まつりについて、5月の連休期間中のPRはどのような仕組みになっているか。
- 生産緑地を市が借用して市民農園を増やす事も選択肢の一つではないか。
- 道路舗装補修計画はあるが、歩道の補修計画はあるか。
- 下水道の普及率を問う。

教育費・公債費・諸支出金・予備費

質疑

- 学校トイレ改修の工事概要と実施時期について問う。
- いのちのプロジェクト事業が行われるようになった経緯、内容について問う。
- こだわりランチのニーズ調査の実施状況と課題を問う。
- コミュニティ・スクール制度について、今後拡大していく計画はあるのか。
- 小学校体育館のエアコン設置について、現状を問う。
- 学校司書の配置について問う。
- 教育センターにおける建物自体の修繕計画はあるか。

民生費

質疑

- 障害者仕事創出事業において、事業内容を問う。
- 子どもの貧困対策事業の対策推進委員会のテーマと重要課題を問う。
- 福祉タクシー助成において大幅な変更が行われるが、新旧制度の違いを問う。
- 避難行動要支援者名簿の人数の推移を問う。
- 障害者差別解消促進事業の周知啓発リーフレットの内容と配布方法を問う。
- ファミリーサポートセンターが幼児教育無償化の対象となった場合、市の方向性を問う。
- 緊急1歳児受入事業において、該当する保育園と受け入れ枠について問う。
- 私立保育園一時保育運営事業は、何人を想定しているか。
- 幼児教育無償化の問い合わせ先と今後の周知方法を問う。
- 長寿祝い金、寝たきり看護手当、入浴事業の見直しについて問う。

総括質疑

質疑

- 職員の有給休暇取得状況を問う。
- 南平体育館の解体時期の再検証は行ななかったのか。
- 児童虐待に対し、緊急安全点検は行われたか。
- 歳入増と歳出削減を図る第5次行革の進め方について問う。
- 改元に伴う10連休の市役所各課の対応について問う。

皆さんからの



請願

第1回定例会では、1件の請願が提出され、所管の常任委員会で審査が行われました。定例会最終日の本会議の審議結果は、次のとおりです。

付託先	請願の件名	結果
環境まちづくり委員会	東海第二原発の運転を再開しないことを求める請願	不採択



請願や陳情の出し方は、日野市議会のホームページにも掲載しています。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

請願や陳情の出し方は、日野市議会のホームページにも掲載しています。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。



政府等へ

第1回定例会で可決された意見書は2件で、関係各機関に送付しました。要旨は次のとおりです。(全文は、市議会ホームページに掲載)

■厚生労働省へ
厚生労働省不透明統計における信頼回復を求める意見書

毎月勤労統計調査において不適切調査が行われていたことが明らかになり、政府統計の信頼性を著しく欠き、多くの国民が疑心暗鬼になりかねない事態を招きました。この背景には国家公務員数の削減や、統計予算の優先順位低下、専門職員の確保の難しさなどが挙げられます。しかし、一番の要因は官僚意識のラルの低下であると考えます。今後の再発防止や、不適切な取り扱いによる給付金の支払不足の解消及び信用回復のため、不適切な毎月勤労統計調査による雇用保険・

労働保険・船員保険・事業主向け助成金の支払い不足の早急な対応と統計調査方法などの抜本的改革。国民からの信用回復のための意識改革による官僚モラルの向上を求めます。

■食品ロス削減に向けてのさらなる取り組みを進める意見書

まだ食べることができ、販売、消費、製造、販売、消費の各段階で廃棄されている、いわゆる食品ロスの削減は、今や我が国において喫緊の課題と言えます。事業者を

反対

平成31年度一般会計予算案に2点の理由から反対します。

第1の理由は、第5次行革の撤回、増額、サービス切り捨て、民営化により、歳入の確保と歳出の削減を図る第5次行革は市民の暮らしを一層苦しめるものとするという点です。消費税増税により景気が冷え込むなか、負担が増えれば、市民の暮らしは深刻な状態に陥ることは明らかです。

市民自治の市政運営で福祉の向上を求める

日本共産党日野市議団

第2の理由は、可燃ごみ処理広域化に際して住民合意も法も守れないまま、整備基金を使うことも慎むべきです。次に、主要課題に

賛成

賛成の立場から意見を述べます。

平成31年度の予算案は、過去最高額の予算となっています。公共施設整備や増え続ける社会保障を支えるためには消費増税の引き上げは必要と考えますが、市としては行革に取り組み、歳出削減、歳入確保を図る努力をすることを求めます。

市民の期待と負担に全力で応える市政運営を

公明党

高い幼児教育が保障される大きな改革であり、丁寧な対応を求めます。また、「第2次ごみ改革」によるごみの減量や食品ロス削減を求めます。

次に、主な項目について意見を述べます。

①全中学校設置館へのエアコン設置を評価②交通空白地域の解消や利便性確保に向けた更なる取り組みを要望③イオ

賛成

安全対策に講じるよう要望します。

主なる事業に同意を申し上げます。

①市民の安全を守るための防犯カメラ整備を評価②交通安全対策を評価③住民情報システム

柔軟な対応で、更なる市民サービスの向上を

自由民主党日野

樹木の管理を要望⑥障害者対策に追加、都市農業振興につなげる、公園を利に全力を注ぐことを要望⑦旧小学校

一般会計予算に賛成か、反対か

～各会派の総括意見(要旨)～

令和元年度 総額 1,219億4,375万円 (前年度比 3.2%増)

会計名	予算額	前年度比
一般会計	688億円	5.8%増
特別会計	531億4,375万円	0.02%増
国民健康保険	163億3,272万円	2.6%減
土地区画整理	36億609万円	4.3%減
下水道事業	45億7,420万円	4.4%減
介護保険	140億7,935万円	4.7%増
後期高齢者医療	44億3,034万円	5.6%増
市立病院事業	101億2,106万円	0.4%減

(注)金額は、欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

※「平成31年度」とあるものは、「令和元年度」をさすものです。